

津の草

ミニ展示

名所をめぐる

浮世絵の中の街道と旅

◎入館無料
◎開館時間・9時30分～17時
◎最終入館・16時30分

会期

令和7年
12月13日(土)

令和8年
2月23日(月・祝)

栗東歴史民俗博物館

ミニ展示「名所をめぐる—浮世絵の中の街道と旅—」

江戸時代は街道が整備されたことで、民衆の間で旅行が流行しました。また出版ブームも起こり、旅行と併せて各地の名所を描いた浮世絵も人気を博しました。

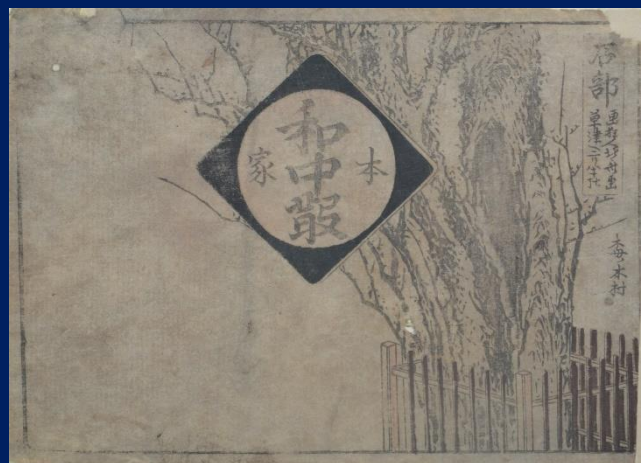
栗東市は東海道と中山道という江戸時代の主要街道がふたつ通る町です。そのことから江戸時代の旅行ブームの際には、現在の栗東市内を旅人が行き来し、多くの人で賑わっていたと想像され、それを裏付けるよう浮世絵の中にも名所として、栗東市内やその周辺が度々紹介されています。そこで本展示では浮世絵から、往来する当時の旅人と街道、併せて栗東周辺の名所を紹介いたします。



東海道五十三次（絵本駅路鈴）石辺



（蔦吉版）東海道五十三次之内 土山



春興五十三駄之内 本家和中散

栗東歴史民俗博物館

所在地：滋賀県栗東市小野 223-8

休館日：12/15（月）22（月）28（日）～1/5（月）

1/13（火）19（月）26（月）

2/2（月）9（月）12（木）16（月）

お問合せ：電話：077-554-2733 FAX：077-554-2755



博物館 HP

